

平成 29 年度

公益社団法人 地盤工学会
第 5 回 会員・支部部会
議 事 録

日 時：平成 30 年 2 月 16 日（金）14：30～18：00		会場：地盤工学会 3 階会議室	
理 事 会 員・支 部 部 長 廣 岡 明 彦 ○			
理 事 金 子 敏 哉 (会 員・支 部 担 当)	×	理 事 北 田 奈 緒 子 (男 女 共 同 参 画・ダ イ バ ー シ テ ィ 担 当)	×
部 員 石 井 裕 泰	○	部 員 石 川 敬 祐 (継 続 教 育 シ ス テ ム 委 員 会 委 員 長)	○
部 員 田 中 真 弓	○	部 員 原 田 克 之	○
部 員 渡 邊 康 司	×	理 事・副 会 長 田 中 耕 一	○
事 務 局：長 尾 ○ 伊 佐 治 ○			

○：出席 ×：欠席

◎本日の議事録作成担当者（ 原田 部員 ）

議 題：

1. 前回議事録の確認（2017 年 12 月 6 日開催）
資料－1 pp.1～3
＞廣岡部長より説明があり、承認された。
2. 理事会報告（2017 年 12 月，2018 年 1 月開催）
資料－2 pp.4～13
＞小田部理事より説明がなされた。
＞なお、ダイバーシティ会費減免は年度単位の制度であり翌年度の継続については理事会での審議事項となる。そのため審議時期に関し、遅くとも 11 月の対面での理事会に上申できるよう会員・支部部会で準備することが望ましく、申し送り事項とすることが確認された。
3. 電子化 WG 報告
＞発展的に解消したこと、また、必要な場合は対応を行うことが、報告された。
4. 平成 30 年度予算案（第 3 次案）の確認
1) 事業方針・計画 資料－3 pp.14～16
2) 予算案 資料－4 pp.17～18
＞廣岡部長より、事業方針・計画ならび予算案について説明がなされた。
＞第三次案では、会員・支部部に関する収支は約 368 万円の黒字の計画となっていることが、説明された。
5. 理事会からの検討依頼
＞検討依頼事項は特になし。
＞なお、プレミアム会員制度の利用を促進するため、会費請求時のチラシ同封やメール配信などの情宣活動の継続が必要であるとの意見があった。
6. WG 活動
1) 特別会員強化 WG 資料－5 pp.19～32
＞田中副会長（WGL）より活動状況について資料をもとに報告があった。
＞今年度の JGS 高松大会では若手座長制度を取り入れるべく建設会社を中心に候補者を抽出したが、そのやり取りの範囲では概ね好評であり、新規会員増加にも効果的と判断される。
＞特別会員入会状況一覧表を作成しているが、①4 級企業が多い、②民鉄のように地盤関連事業者でも特別会員未加入の企業あり、③コンサル等では支部加入状況が低い、などの情勢が読み取れ、今後の特別会員入会勧誘の攻め口とできる可能性がある。
＞特別会員の特典強化を求める声が多く、検討を進めている。

2) 会員 DB 活用 WG

>特に報告事項はなし。

7. 所管委員会関連

1) 地盤品質判定士

- ・地盤品質判定士に関する報告

資料－6 pp.33～34

>小田部理事より資料をもとに活動報告がなされた。

>熊本被災宅地復旧事業支援のため熊本支部が設立されたことが報告された。

- ・判定士活動状況表（CPD 付与行事等）

>特に報告事項はなし。

2) 技術普及委員会

- ・オンデマンド講習会

資料－7 pp.35～36

>小田部理事より本部講習会の同時配信方法の検討について説明があった。

>1/30 に JGS 会館での動作状況確認を行うなど、検討作業を進めており、来年度の実施に向けて準備を進めていることが報告された。

- ・講習会企画

資料－8 pp.37～40

>小田部理事より資料をもとに活動状況について報告がなされた。

>各講習会企画について承認した。

>なお、「地下水調査に用いる井戸理論と実務講習会」については、テキスト代は未決定ため、開催についてのみ承認した。

>人気のある講習会については、再企画も有益ではないか、との意見があった。

>講習会会費については、会員と非会員の価格差設定の見直しも含めて技術普及委員会で検討することとした。

3) 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

資料－9 p.41

- ・ダイバーシティ座談会報告
- ・技術者・研究者紹介 WEB 版

>田中真部員より活動状況について資料をもとに報告がなされた。

>ダイバーシティ促進のための方策として JGS 全国大会等での託児所設置があるが、利用者が少数という実態から費用対効果について検証すべきでは、との意見が出され、ダイバーシティ委員会で報告するものとした。

4) 継続教育システム委員会

>特に報告事項はなし。

5) その他

8. 会員処理

1) 請求書関係

- ・平成 30 年度第 1 回【コンビニ収納】会費請求：2018 年 1 月 22 日発送（学生会員 827 件、ダイバー会員 271 件、その他会員 5624 件、合計 6722 件）

- ・職場班請求明細の送付：2018 年 5 月発送予定

- ・平成 30 年度第 1 回【口座引落】：4 月案内送付，6 月引落とし予定

>以上について、事務局より報告がなされ、いずれも承認された。

- ・ダイバーシティ会員における【冊子希望】について

資料－10 pp.42～43

>今後の会費減免条件である地盤工学会誌 web 版移行をせず冊子希望を申し出た減免利用中の会員への対応が報告された。認識に齟齬がないよう、事務局より正会員会費の請求書を送付して意思を確認することとした。

- ・学生会員における【ダイバーシティ会費減免制度】の利用について

資料－11 p.44

>障害を有する学生が、新規入会と同時にダイバーシティ会費減免制度の利用を希望しているが、学生会員では障害に関する減免対象者とならないため、正会員として入会して当該制度を利用する例が説明された。

3) 会員情報更新案内の継続について

>特になし。

4) 会員の特典について

>特になし。

9. 新入会, ダイバーシティ制度申請, 被災による会費減免申請

1) 2月入会申請

資料-12 pp.45~51

2) 2月会費減免申請

資料-13 pp.52~54

3) プレミアム会員申請 (3名)

資料-14 p.55

>上記について資料をもとに事務局より説明があり, いずれも承認された。

10. その他

1) 第20回事業企画賞

資料-15 pp.56~ 62

>事務局より資料をもとに説明があり, 承認された。

2) 「土質試験者を対象とした技量把握情報提供サービス」企画について

資料-16 pp.63~65

>石井部員より資料をもとに説明があり, 特別会員強化WGで検討を継続することとした。

3) 未収金の処理について

資料-17 pp.66~68

>講習会参加費の未収金について事務局より説明がなされた。

>H26以前は特別損失として処理することが承認された。処理の前に再度, 催促することとした。

>今後のため, 事務局において請求期間の確認や請求手順の整理を行うこと, H27以降分は部会報告(無い年度も含め)するものとした。

4) 平成30年度の体制について

資料-18 p.69

>石川部員, 渡邊部員, 遠藤部員が本年度で退任予定であることが説明された。これを受けて2~3名程度の新部員候補を紹介していただきたい旨, 廣岡部長より依頼があった。

5) 永年会員表彰の工程及びチェック体制の強化

>特になし

6) 特別会員表彰の実態調査

>特になし。

7) ダイバーシティ関連表彰について

当日資料

>田中真部員より, 女性のための賞の創設について資料をもとに説明がなされ, 今後, 会員・支部部で検討を行うこととした。

11. 次回以降の部会等開催日程

4月開催予定とするが, 日程についてはメール等により調整のうえ決定するものとする。